



令和5年度 新潟山形南部連絡道路建設促進期成同盟会住民大会 関川大会



◆大会概要

- ・とき 令和5年10月21日(土)午後1時30分～午後3時30分
- ・ところ 新潟県関川村 村民会館アリーナ (新潟県岩船郡関川村大字上関1285)
- ・参加者 約250人

《出席国会議員》

衆議院議員 斎藤洋明氏、鈴木憲和氏(代理)

参議院議員 佐藤信秋氏、小林一大氏、打越さく良氏、舟山康江氏(代理)

○基調講演

演題 「道路をとりまく最近の話題」

講師 国土交通省道路局企画課 道路経済調査室長 四童子 隆 氏

○意見発表

○大会宣言

◆主催 新潟山形南部連絡道路建設促進期成同盟会

構成市町村

【新潟県側】 新発田市、村上市、胎内市、聖籠町、関川村、粟島浦村

【山形県側】 米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、白鷹町、飯豊町、小国町

(各市町村長、議長、商工団体の長が会員)

【事務局】 山形県小国町役場地域整備課 ☎0238-62-2431 FAX0238-62-5464

○基調講演内容

講師：国土交通省道路局企画課 道路経済調査室長 四童子 隆 氏



本日は主にふたつのことについてお話しさせていただきます。ひとつは、今年是全国の道路にとって特別なタイミングであるということ、そしてもうひとつは、新山道の今の状況、これからどうやって実現に向かっていくのかについてです。

まず、日本の状況を見てみますと、厳しい経済状況や人口の減少、山が急峻、災害が多い、地震が多いという厳しい環境の国土があり、道路を整備していく上では、これらの状況に向き合っていかなければいけません。

災害時のネットワークという意味で国道113号を考えると、東日本大震災の時は三陸で非常に大きなダメージ受けましたが、そのときはガソリンや救援物資を運ぶための命の道として、大きな機能を発揮することを実証しました。昨年8月の豪雨では、国道113号に土砂の流入、路肩の崩壊などによって3日間程度通行止めとなり、地域の救助活動に支障をきたしました。このときは1時間に161mmという非常に強い雨が降りましたが、こういうことが、まさに明日にでも起きる可能性が常にあるということを視野に入れて道路を考えていく必要があります。

今年がなぜ特別かについて3点ほど申し上げます。ひとつは5月に道路整備特別措置法を改正したこと。もうひとつは国土強靱化基本法が改正され、これまで法的に位置づけが無かった中期計画がしっかりと法的根拠を持って実施ができるようになり、切れ目無く計画的に強靱化の投資ができる素地ができたこと。3つ目が7月に国土形成計画が閣議決定されたことです。日本海側と太平洋側とを効果的に活用しつつ、内陸部を含めた連結を図る「全国的な回廊ネットワークの形成」を図ることが明記されました。新山道については具体的に明記されてはいませんが、道路を整備していく上での制度的な裏付け、方向性について全国的な議論として進んできています。

これまで、1万4000キロの高規格幹線道路と地域高規格道路という言い方で幹線道路の計画を進めてきたものを、今回の国土形成計画では高規格道路ネットワークについて、既存のネットワークを活用しつつ、概ね2万キロあまりの形成・機能向上を図るといった言い方で書かれています。新潟と山形の実際の計画図では、新山道は高規格道路となっており東北道や北陸道も同じ高規格道路となっています。これからは、高規格道路と高規格幹線道路を合わせた中で、このネットワークを一体として強化していく、シームレスにしていくということが打ち出されています。

新山道の整備はだいぶ進んできています。具体的に、私もこの会場に来る前に、鷹の巣道路のトンネルを見てきましたが、まさに今から掘削を始めるという段階にきています。小国道路についても、もうすぐ着工するという状況で、梨郷道路については今年度中に開通が見込まれています。その他の区間については、片貝一金丸間がまさに昨日、計画づくりのファーストステップとなる委員会が開催され、必要な道路だからしっかり進めていくというプロセスで動き始めています。今後は、さまざまルートを決めたり構造を決めたりというときに、どのような効果があるのか、地域にどのような意味があるのかというのを地域と一緒に進めていくということになるので、是非とも本日お集まりの皆さんの様々なお力、ご意見をお願いいたします。また、小国―飯豊の区間についても、計画段階評価に着手する準備をしているので、遅からず準備が整えば次のステップに入っていくと思っています。各区間の状況は今申し上げたとおりですが、例えばクアーズテック（株）が半導体のカーボンブラシの世界的シェアを誇っていて、非常に生産性を発揮されています。日本がこれからどうやったら豊かになっていくか、地域がどうやったら発展していくかということと道路との関わりを是非、地域ぐるみでイメージをしてほしいと思います。私共としても、どのようなことが必要なのかということをしつかりと整理して進めていくことが大事だという認識でおります。

最後に、もうひとつ大事なことがあって、こちらが予算の推移です。ご案内のとおり公共事業の全体額はなかなか伸びてこない中で近年につきましては強靱化の3カ年の対策、5カ年の対策ということで別枠として確保していただいているというのが実態であります。現在3年目となっている強靱化の4年目、5年目といったあたりをしつかりと確保できるかということと、その次に向けて、先ほど申し上げた法改正を受けてどのような予算を確保できるかということも非常に重要になってきます。その際に、全体としましては、メンテナンスというものがひとつ大きな課題となっておりまして、道路全体として、しっかりとメンテナンスをしながら、さらに地域が良くなるような新しい投資をしつかりと進めていくということが大事になってくると考えています。

最後にまとめとして、縷々申し上げましたように、日本の国土が厳しかったり、まだ道路ネットワークにいろいろ課題もありますが、新山道の状況については、今年、非常に進捗がみられておりますので、これからもみなさまのお知恵とお力をいただきながら、私共も一体となって進めさせていただければありがたいと思います。私の発表は以上でございます。ご静聴ありがとうございました。

○意見発表内容

【新潟県関川村】 えちごせきかわ温泉郷旅館組合女将会 会長 鷹の巣館 女将 小山千寿子 氏



えちごせきかわ温泉郷は「荒川」「JR米坂線」「国道113号」を挟むように点在する温泉地で、国道113号は鉄道と川と山と橋の織りなす風景を楽しめる道路です。その一方「国道113号」の山間部はアクシデントが多く、大雪や吹雪の影響を受けやすい道路でもあります。昨年の8月豪雨では、避難先から宿に戻る際、通行止め箇所が多く、迂回しながらようやく宿にたどりつくことができ、迂回路のある道路のありがたみを強く感じたものです。

道路は、観光地や温泉などの「点と点」を結ぶ「線」の役割を果たしています。私共観光業としまして、点の数が多いこと、線の数が多いことは、大変重要なことです。そして、この線としての道路が「安全で、早く、美しい景色に恵まれていること」が旅行者に愛される要素になるかと思います。「新潟山形南部連絡道路」が完成しましたら、太平洋側と日本海側の広範囲に観光ルートを作ることができ、インバウンドを含め、観光業に大きく貢献することと期待しております。

はじめて「鷹の巣道路建設中」の看板を見たときは私もまだ若く、すごい道路ができると聞き、わくわく期待したのですが、それから何年も経った今では遠い話しを聞いているように感じてきていることも事実です。是非「新潟山形南部連絡道路」が全面開通し、この道路が、私共の身近な道路となりますことを切に希望いたしております。

【山形県飯豊町】 いいでめざみの里(株) 販売部長(兼)企画営業部長 安部 智也 氏



「道の駅いいで」は、全国で39か所、山形県では唯一の「防災道の駅」に選定されておりますが、選定以前から新潟中越地震や東日本大震災の際に、日本海側と太平洋側を結ぶ救援物資の中継地としての機能を果たしてきました。また、昨年の豪雨災害時には、敷地内への土砂の流入や建物への浸水などに見舞われながらも、飲食物の無償配布、休憩スペースの提供、他施設への発電機の貸し出しなど臨時避難所としての役割を担いました。私も泊まり込みでそれらの対応に追われましたが、2次被害を生むことなくほっとしたのを今でもはっきり覚えています。

この豪雨災害では、国道113号に迂回路がなく、鉄道網も寸断されたため、物流、人流が遅延、途絶し、コロナ禍からの回復を目指す私たち観光業に更なる厳しい現実を突きつけられました。

国道113号の複線化は、地域住民の利便性の向上のみならず、物流の迅速化、観光振興などに寄与し、多方面に強大な効果をもたらすということになります。

道の駅に従事する者として、日常的に国道113号を利用する沿線住民の一人として、次の世代に宿題を残さないためにも、「新潟山形南部連絡道路」の一日も早い全線開通を心から願っています。

【山形県小国町】 クアーズテック(株)小国事業所 シニアHRマネージャー 加藤 孝則 氏



クアーズテックグループは世界的セラミックスメーカーであり、国内における最重要拠点が小国事業所です。小国事業所では関係会社を含め、約700名が働いていますが、そのうち約300名が車通勤者であり当社が山形県小国町で事業を営むうえで、道路は非常に重要な役割を果たしています。

昨年発生した豪雨災害では、国道113号が新潟、山形両方面で寸断され、従業員の帰宅困難者が多数発生し、会社施設の中で一晚を過ごす事態となりました。物流面では幸いにも国道113号が比較的早めに復旧されたことから、影響は最小限で留まったものの、復旧が長引いていれば、人的・物的な面において多大な影響が出ることは想像に難くありません。製品の品質やコストは企業の努力によって解決することは可能ですが、物流の要となる道路の整備については一企業で解決することはできません。沿線住民や、利用する企業及び団体と連携を強化し、道路整備に対する運動をさらに高めていくことが重要であると考えています。

当社は企業の社会的責任を自覚し、公正で誠実な企業活動を行い、良き企業市民として地域社会との共存を図りながら、広く社会の発展に貢献することを、経営方針の一つとしております。この経営方針の実践のため、また沿線住民の方々が安心して快適に生活できる環境をつくるために、国道113号の整備促進と合わせ、新潟山形南部連絡道路の全線が一刻も早く完成することを切に願っています。